

江の川（下流）・高津川水害タイムライン 検討会 議事概要

令和6年6月13日（木）13:30～15:00 対面開催（Web会議併用）



～議事次第～

1. 江の川（下流）・高津川水害タイムラインの概要
2. 令和6年度 江の川（下流）・高津川水害タイムラインの修正点
3. 令和6年度 江の川（下流）・高津川水害タイムラインの運用方法
4. 江の川（下流）・高津川水害タイムラインの各機関の行動確認（読み合わせ）
5. 江の川（下流）・高津川水害タイムライン運用支援システムの操作説明
6. 今後のスケジュール
7. 質疑応答

- 座 長：松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 広瀬 望
- 参加機関：42機関中30機関参加

座長挨拶

今年は梅雨入りが遅れており、もうすぐ梅雨入りというタイミングで本検討会を開催する運びとなった。梅雨入りにより台風が多く発生する季節となったが、住民の円滑な避難行動を支援するには、水害タイムラインの運用が重要になると考える。水害タイムラインは、令和2年度の運用開始から改良されてきているが、より良いものとなるように本日は活発な議論をお願いしたい。



座長講評

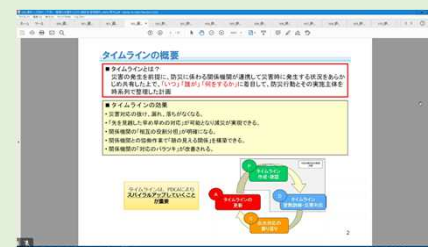
江の川(下流)・高津川水害タイムライン運用支援システムは、出水時に確認する情報が一元化されており、非常に使いやすいシステムになっていると感じた。

本会では前線性降雨時のタイムライン立ち上げ会議の開催条件について議論があり、承認された。このようにタイムラインが検討会を通して、良くなっていることを実感している。これもひとえに関係機関の皆様の協力の賜物であると考えている。

来年の2月には、令和6年度第2回検討会を予定している。タイムラインをより良いものとするため、関係機関の皆様には本会のように活発な意見をお願いしたい。

◆ 令和6年度 第1回検討会の内容

検討会の様子



タイムラインの概要



運用支援システムの説明



タイムラインの読み合わせ

タイムラインの読み合わせで行動項目を確認したところ、松江地方気象台と中国電力ネットワーク(株)から各レベルでの参考情報や行動項目などの修正について、ご意見がありました。